

「都市づくりのグランドデザイン(素案)」における 意見・アイデアの募集結果について <第5章1>

※意見・アイデアに記載されているページ番号は素案のものです。

番号	意見・アイデア
1	分野横断的な戦略とあるが、各戦略毎に完結している印象がある。分野横断的な視点がたりないのではないかな。
2	「東京らしさ」の明確化 本計画随所に「東京らしい」「東京ならではの」といった表現が見受けられますが、具体的なイメージの提示が不十分であり、目指すところが不明です。パースや事例写真などを用い、皆様が描いていらっしゃるイメージを伝えて頂きたいと存じます。
3	計画展開時の実現性の確保 目標数値の設定 社会資本整備においては具体的な計画に基づき、目に見える形で推進されることが重要である。「都市づくりのグランドデザイン(素案)」では到達イメージは記載されているものの、具体的な目標数値(KPI)が定められていないことから、「2020年に向けた実行プラン」の目標のように、2040年代という将来にわたる目標数値の設定についても、計画の見える化、わかりやすさの観点から極力検討していただきたい。
4	・東京都が主体的に行っていくものと、東京都以外の主体が行っていくものの整理をお願いします。 例：政策方針-8取組-2における「開発等に併せて敷地内の緑を連続させ、歩いて楽しく美しい都市空間を創出します。」とありますが、開発事業者が公共空間を整備するのか、東京都が整備するのか分かりづらいと考えます。 ・5章1で「戦略」を説明し、2で「政策方針・取組」を説明する構成となっておりますが、同じ章立てで説明した方が理解しやすいです。 ・全般を通じて取組の具体性が明確になっていない記載が見られます。 例：政策方針-27取組3における「エリアマネジメント団体の自主的な運営による活性化を促進します」とありますが、エリアマネジメント団体が自主的に運営するために必要な対応が記載されていないため、何に取り組んでいくのか分かりづらいと考えます。 ・7章の2について、「ガイドライン」「方針」「基準」「マスタープラン」等の表現が出てきますが、それぞれの位置付けと関連性、全体的な建付けを整理して頂きたいと考えます。
5	内容については、具体的な物を示そうとご苦労されている事と拝見します。ただ、少々現時点で見えている新技術などに拘っている様に見えてしまいますので、少し概念的に戻るかもしれませんが、あるべき姿、為すべき仕組みの構築をもう少し示された方がよいのではないかと存じます。
6	東京に高度な人材が集中するような、魅力的なビジョンを描いてほしい。現況維持ではアジア各都市に引き離される懸念がある。

番号	意見・アイデア
7	中小企業の成長・発展の重要性について 東京の経済活力の向上には、都内企業数の 99%を占め、雇用創出など地域経済を支える基盤として重要な役割を担っている中小企業の成長・発展を促進していくことが重要であるため、創業支援施設や産業交流拠点の整備、産業集積の維持・発展、都市農業の振興を都市づくりの面から後押ししていくことが求められる。 中でも、東京には高い技術力を有するものづくり産業が集積し、世界から高く評価されていることから、ものづくり企業の操業環境を確保し、住工が調和した活気ある地域を形成していくことや、高度なものづくりの振興に向けた研究開発拠点およびものづくり産業を担う人材育成拠点の整備、産学公連携の推進に向けたクラスター形成を促進していく視点も重要である。また、商店街は地域経済で重要な役割を担っていることに加え、地域の活力や賑わいの創出および生活・防犯・防災等の社会的機能など、魅力ある街の形成や地域コミュニティの担い手としての機能も有している。従って、商店街の活性化を通じて、こうした機能を堅持していくことも肝要である。 東京が今後もわが国の経済成長のエンジンとしての役割を果たしていくために、東京の経済活力の向上、特に中小企業の成長・発展を考慮した都市像を描くことが重要である。ものづくり産業やベンチャー企業のみならず、サービス業をはじめとした既存の中小企業や、多摩イノベーション交流ゾーン以外の中小企業も考慮した政策方針を推進されたい。
8	「区部中心部」、「郊外部」、「区部周辺部」はどこを指すのか、解説があった方が読みやすいのでは。
9	36 ページ、「都市圏で比較する東京都世界の大都市（現状）」図 新鮮に拝見しました。出典を記載して下さい。あるいは今回作成ですか。ロンドン都市圏について、London Plan2016 によると、グレーターロンドンよりも西側への拡大の方向性が示唆されて、鉄道のクロスレールがすでに計画されています。西側区域もここであるロンドン都市圏に入るのではないのでしょうか。ご確認ください。
10	「世界をリードする国際ビジネス交流都市を持続させる」とありますが、持続に留まらず、さらに向上することを表現されるとよいのではないかと思います。
11	I Rについての記載が見当たりませんでした。I Rは将来の東京の都市像の中で大きなウエートを占めていないということなののでしょうか？
12	38 ページ、「広域的なインフラネットワーク」の図は、全体が見えるように、千葉や横浜が欠けないようにご配慮下さい。
13	世界的に見て優れている点を伸ばすだけでなく、東京が世界と比較して弱い点であるバスの利便性強化（快適なバス停の整備、デジタルサイネージやスマホでわかるバスロケーションシステム等）や鉄道運賃の低減（鉄道会社をまたいだゾーン制運賃や1日の運賃上限設定等）も将来の目標とするべきではないか。

番号	意見・アイデア
14	都市のイメージの一端（住宅市街地）の中に、災害時に関する記述がありませんので（政策方針-13に繋がる内容）、以下のような主旨の文章を追記すべきと考えます。 文案：コージェネレーションシステムの導入を始めとするエネルギーの相互融通、各家庭に導入された停電時でも発電継続可能な家庭用燃料電池等により、災害発生時でも都市活動、都民生活が継続しています。
15	「災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築」のためには、「環境性」・「防災性」を同時に実現するコージェネレーションシステム等自立分散型電源の導入促進、および熱や電気を面的に融通し最適制御するエネルギーネットワークの構築が不可欠と考えます。これらの取組みの推進にあたっては、「環境・エネルギー政策」と「都市づくり政策」の分野横断的な政策誘導により実効性が更に高まるものと考えます。
16	戦略4 あらゆる人々の暮らしの場の提供 前文に、「健康で安心して」という文言を入れた方がよいと考えます。 文案：高齢者や子育て世代、・・・あらゆる人が、健康で安心して暮らしやすい場を提供するとともに・・・。
17	「プライドを持って働いています」は、いまの農業者はプライドが無いような誤解を与えかねないのでは。（例：「・・・生業として農業を志す若者が増え、新たな担い手が東京ブランドの農業を牽引している」等）
18	1-戦略6「東京の緑を、総量としてこれ以上減らさない。」 緑の総量（つまり緑被率）として評価することだけでなく、緑の質に重きを置くべきと考えます。具体的な案としては、「緑の量及び配置」「緑の設え」「緑の活用」「緑の連繫」の4つを評価項目とし、緑の質的評価を行うことが考えられます。 例：「東京にふさわしい緑の考え方として、「緑の量及び配置」「緑の設え」「緑の活用」「緑の連繫」といった緑の質を重視し、これらの質的価値を高めていく。」 備考：第5章の政策方針24にも同様の記載。（P.101）、第7章3と関連。（P.147）